

夏の向陽 多彩な学び

夏休み中、学校には暑さにも負けず開放教室・補習教室、部活動に文化祭準備と毎日頑張る生徒の姿が見られました。8月2日（月）は登校日で、各学年平和学習を行いました。1年生では、ドラマ「さとうきび畑の唄」を鑑賞し、2・3年生は「和歌山大空襲」について、動画をまじえながら学習しました。改めて平和の大切さを学ぶ一日となりました。

8月4日（水）には、きのくにジュニア科学オリンピック予選会が行われました。6人1チームで行われる本大会に、1年生4チーム、2年生4チームが挑戦しました。6人で取り組むため、チーム内でのコミュニケーションが鍵となります。話し合っ、どのように解いていくか、また得意な問題はどれかなど、チームワークも大切で、メンバーの知識だけでは好成績は生まれません。そんなことも学べるのがこの大会です。予選会は県内各校で行われ、上位10チームが9月5日（日）に行われる決勝大会に進出します。本校からは見事2チームが進出しました。決勝大会で優勝すれば全国大会となります。健闘を願っています。

8月6日（金）には、県立自然博物館より國島学芸員をお招きして、「魚の解剖教室」を実施しました。この日は、解剖が初めての生徒も丁寧にメスを入れ、最後には、胃の内容物を確認することができました。この後、サメやエイについても解剖するなど一人3匹を解剖し、解剖の世界を堪能できました。

同じ日の夜は、高校との合同SSH企画で、紀美野町にある「みさと天文台」にて宇宙について学びました。当日はあいにくの天気でしたが、山内天文台長より、プラネタリウムで星空について解説頂いたり、宇宙の広がりについて説明を受けたりしました。その頃には星も出始め、天体望遠鏡で「土星」や「木星」を観察することができました。やはり土星の輪や木星の4大衛星を見る経験は貴重であり、生徒もたいへん感動したようでした。

あなたも夏の学びを、友達と是非共有しましょう。



きのくにジュニア科学オリンピック



解剖教室



星空教室